

ず が い ほう ご う そ う き ゆ ご う し ょ う

頭蓋縫合早期癒合症

きょうとうししょう

(狭頭症)



子ども達に「**勇気**、**夢**として**笑顔**」を

ずがいほうごうそうきゆうしやう きやうとうしやう 頭蓋縫合早期癒合症（狭頭症）

頭蓋骨には、赤ちゃんの頃から20歳くらいまで
骨縫合こつほうごうといわれる骨の継ぎ目があります。

この部分に新しい骨ができていくことで、頭蓋骨が大きくなります。

原因がないのに、この骨縫合が早期（=小児期）に閉鎖してしまい、頭蓋骨が大きくなれない状態を
頭蓋縫合早期癒合症(狭頭症)と呼びます。

【症状】

閉鎖してしまった骨縫合により、頭蓋骨が特徴的な形になります。

- 短頭蓋たんずがい：両側冠状縫合かんじやうほうごうの早期癒合で、
頭の前後径が短くなります。
- 舟状頭蓋しゅうじやうずがい：矢状縫合しじやうほうごうの早期癒合で、前後径が長くなります。
- 斜頭蓋しゃずがい：片方の冠状縫合の早期癒合で、おでこに
左右差があり頭蓋が斜めに歪んだ形になります。
- 三角頭蓋さんかくずがい：前頭縫合の早期癒合で、
額が狭く船首状に突出します。

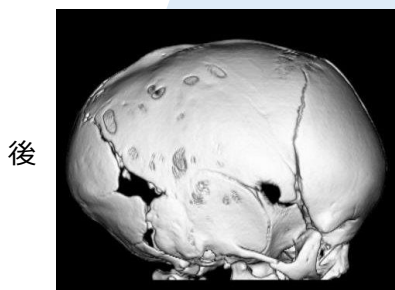
これらの形態変化に加え、頭痛・発達障害などの機能的な障害が起こります。



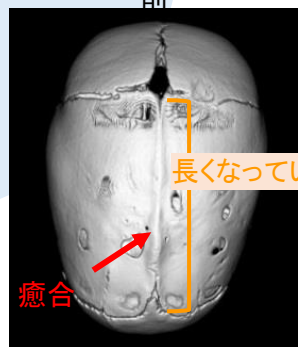
【診断】

診察と頭部の CT で診断できます。

さらに、基礎疾患を調べるために MRI や遺伝子の検査を行うこともあります。



前



後

▲▶狭頭症の3次元CT：

矢状縫合の早期癒合症があり、頭が前後に長くなり舟状頭蓋を示します。

【治療】

頭蓋骨を拡大し、脳の入る容積を広げる手術をします。

1回で手術する方法と、骨延長器と呼ばれる器械を用いて1日に数ミリずつ徐々に骨を広げる方法があります。

手術法は、ひとりひとりの頭の形や年齢・骨の厚さに合わせて最適なものを選びます。複数回の手術が必要になる場合もあります。





地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪母子医療センター

<脳神経外科>

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

患者支援センター TEL 0725-56-1220

FAX 0725-56-5605